

平成8年11月22日・11月24日
第46回国民大会プレ大会



平成9年10月26日・10月29日
第52回国民大会なみはや国体羽曳野市ウエイトリフティング大会



kasisyou@khf119-osaka.jp 

ガンバレ、消防音楽隊！（その71）

こんにちは、消防音楽隊の河井です。

いつも、この「ガンバレ、消防音楽隊！」にアクセス頂き、本当にありがとうございます。

今回で71話、6年間連載を続けてこれたのは、応援頂いております、皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、ご存知の方もおられると思いますが・・・、

昭和61年から20年間頑張ってきましたが、現在の流れで行きますと、平成17年8月7日(日)の出演を最後に、消防音楽隊は『活動休止』の措置が取られる事となります。

消防音楽隊としては、音楽隊員の多くが今後の活動に対してそれぞれ展望を抱き練習に励んでおりましたので、「寝耳に水」の感の中、みんな動揺し落胆しております。

『一旦休止』とすることですので、「再開」の可能性はゼロではありませんが、『一旦』でさえ休止する事は、音楽隊の望むところではありません。

多くの方から、「休止しないで継続を。」というメールも頂いております。

ご声援ありがとうございます。

そこで、大変恐縮なのですが、『音楽隊活動休止』に関して、皆さんの声をお聞かせ頂きたいと、アンケートをお願いする次第でございます。

下のをクリックし、アンケートにご協力頂きますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、ご協力頂いた方々のアドレスを取得致しませんので、こちらからお返事する事が出来ません。どうぞご了承下さいますようお願い申し上げます。

消防本部へのメールは、以前同様、トップページからご利用になれます。

皆様のお力をお借りしたいと願うばかりです。

どうかご協力お願い申し上げます。



[アンケート入口](#)

柏原羽曳野藤井寺消防組合

消防音楽隊

楽長 河井賀文



ガンバレ、消防音楽隊！（その72）

そして、私の立場では、可能な範囲までしか申し上げられない事を、大変申し訳なく思っております。（かさねて、ゴメンナサイ！）

それでも至りませんでした部分を、補足的にご説明申し上げます。（今頃分かって遅い！って叱られそうです・・・）

予めご用意いたしました選択肢は、

- ・ 音楽隊継続に賛成
- ・ 縮小し継続に賛成
- ・ しばらくの間休止に賛成
- ・ 将来的に廃止に賛成

の4つでしたが、

アンケートに参加頂いた方々から

- ・ すぐに、廃止すべき
- ・ 消防組合から独立して活動継続
- ・ 理由によってはやむを得ない

の3つが追加され、計7つの選択肢になりました。

「消防組合から独立して活動継続しては？」というご提案を選択肢並びにコメントに頂きました。ありがとうございます。ご配慮頂いたお気持ちが痛いほど伝わって参ります。

音楽隊は、趣味の愛好家の集まりではなく、業務で演奏している実態が、なかなか理解してもらうのが難しい事もよく分かりました。大変よい勉強になりました。

この「ガンバレ、消防音楽隊！」を長く読んで頂いている方々は、十分ご理解を頂いている事と思いますが、

当消防音楽隊は、当時の市長命令で、音楽、楽器のド素人の職員を無理やり強制で音楽隊員にして作られました。音楽も、楽器も大嫌いな者の集まりで、命令だから仕方無く、嫌々音楽隊になった者ばかりでした。（練習を休んでばかりでしたが、それでも少しは練習してくれておりました。少なくともそのことには私自身感謝しています。全職員の中で、吹奏楽経験者が私一人しかいないと言う事で、指揮をする事となってしまいました。おかげでスッカリ悪者です。20年経過した今も音楽隊員36人中、吹奏楽経験者はたったの3人です。）

最初の数年間は、演奏する度に本当によく笑われました。この間、隊員の入れ替えも頻繁に行い、本当に音楽嫌いな人には辞めてもらいました。おかげで更に悪者。（ダースベダーにも負けないくらい。悪の枢軸状態です。）

10年経って、やっと聴いてもらえる演奏になり、20年経って拍手がもらえるようになりました。

元旦の夜明けと同時に河川敷で「ファンファーレ」を演奏したり、炎天下のグラウンドの端っこで、表彰の曲（「勇者は帰りぬ」）を連続30数回演奏する仕事も、命令と言う業務でしています。依頼があって、出演命令があれば、なんでもします。

複数の隊員が申しおりましたが、

「おとうさんは きてくれないの？ きょうも おしごと？」と、カタコトで話す自分の子供を残して、人の運動会で演奏する。

これが音楽隊員の20年間の実体です。

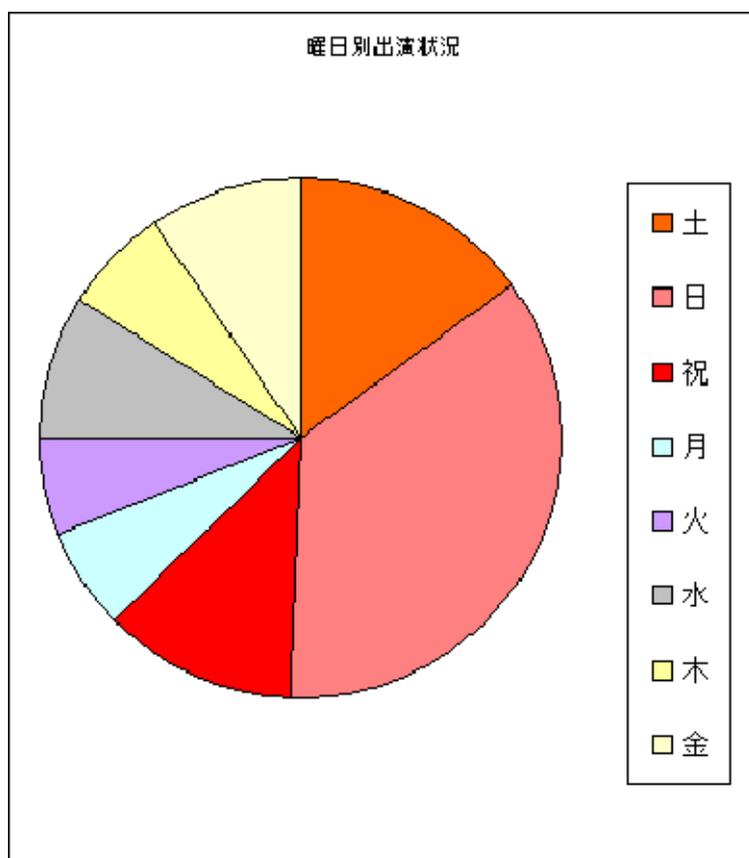
行事も毎年同じ様な日程で繰り返されるので、毎年重なってしまいます。

趣味ではこのような事は、なかなかしてもらえないと思いますし、知られていないと思います。

以前、私も社会人吹奏楽団に所属しておりましたが、多くの楽団は、財政面・活動面に日々頭を悩ませつつ運営していることの方が圧倒的に多いと存じております。一方、音楽隊は趣味で音楽やる集まりではなく、あくまで強制力を伴った命令と言う職務としての演奏です。

純粋に音楽を楽しむ趣味として愛好されている方とは、似て異なるモノで、プロと呼んで頂けるような演奏ではありませんが、アマチュアとした性格を持ってないのが事実です。

もちろん、特別な手当などは一切貰ってはおりません。



当消防音楽隊員でも、個々がプライベートな時間に、自費で行っている自主活動も存在します。が、その多くは、「仕事での演奏」がうまく出来るように、個人でレッスンを受けているようです。

もちろん、今回の休止の件に関して「同情頂けても、なかなか理解して頂けない。」事は、私も想像出来ます。実際、税金が使われて音楽隊も業務命令で運営されております。音楽隊と吹奏楽団との差異は、自主運営・自主活動・自由意志は介在しないと言う事です。

自分も含め、隊員達は使命感と自分を犠牲にして頑張っ、やっとここまでできましたので、正直、確かに、音楽隊がなくなる事で楽になれると、ほっとしている音楽隊員も居ると思います。好きだからやりたい、反対にやめたいからやめると言う理由は、当消防音楽隊の演奏の動機にはなりません。

突然の休止の指示に、命令に逆らわず従順に職責のために費やした、自分達20年間の努力や忍耐は無駄、存在は無意味とされたような感覚はあります。

同じ消防組織内にも、音楽隊員が演奏や練習している間、自分達の仕事が増えるからと言う理由で、音楽隊不要論を唱える職員もおり、今でも職場内で「チンドン屋」と揶揄されてます。(この前、あるイベントで「チンドン屋さん」を見ました。演奏メッチャ上手でした~。流石プロ！敬服の一言です。)

次に、「勤務関係・・・」ですが、

ご存知のように、消防はほとんどの職員が24時間勤務で、当消防組合は1年365日を3サイクルで勤務しております。勤務場所は本署、分署、出張所と6箇所あります。

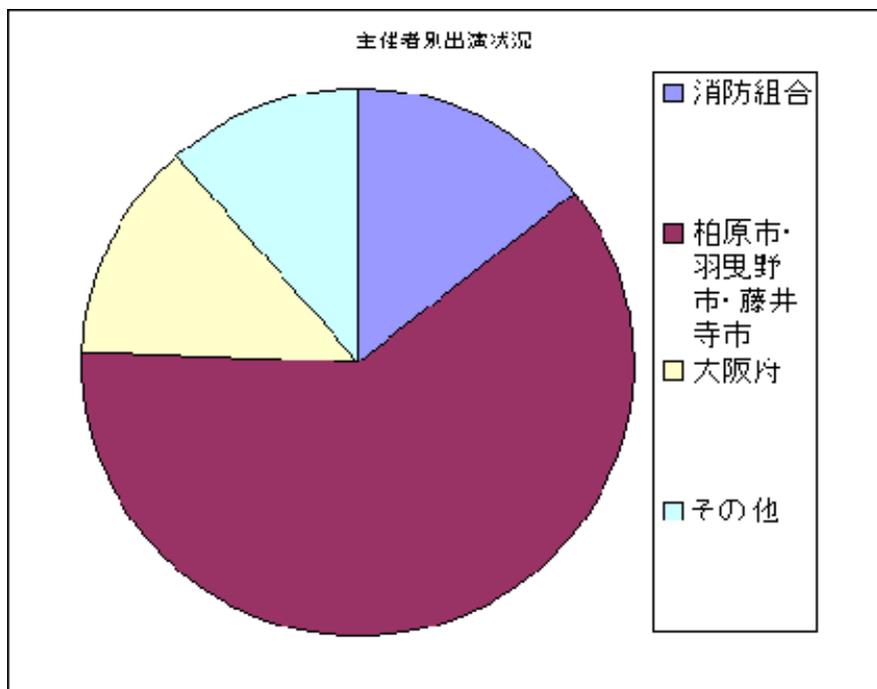
6箇所×3サイクル=18部署と、夜勤のない4つの課の毎日勤務を合わせて、22部署に分散して消防行政にあたっており、音楽隊員も他の職員同様分散して配置されております。(分かり易いようにザックリした説明を行っておりますので、正確な表現ではありません。なお、勤務地は、柏原市、羽曳野市、藤井寺市の3つの市域内で6拠点です。)毎日勤務は、給料計算や財政、建物や危険物施設を法令等により規制、火災原因調査にあたる業務の課があります。毎日勤務者が全体に占める割合は約15%です。当消防組合では、消防音楽隊はどの課のどの仕事にも属さない業務とされております。

当消防組合職員数は256名で、うち音楽隊員は36名ですので、14%が音楽隊業務に携わっております。

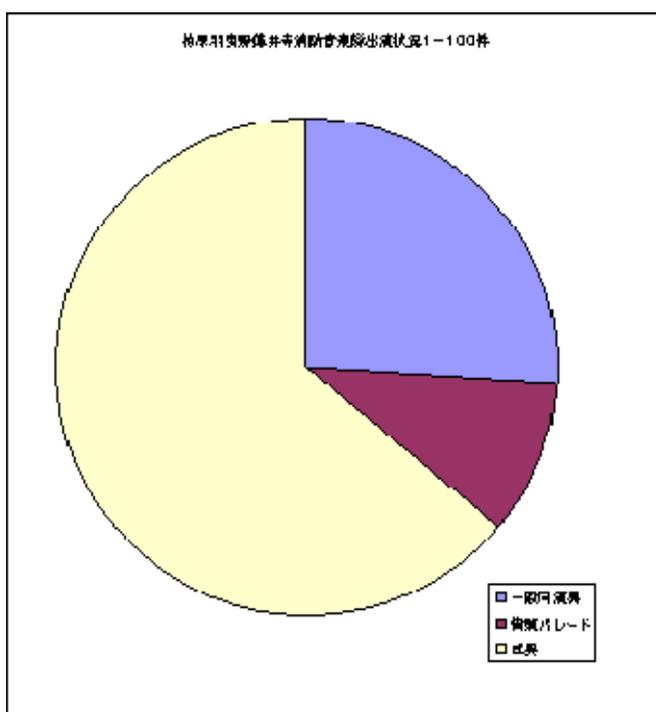
『おっ！！じゃ、毎日勤務者15%、音楽隊員14%なんだから、毎日勤務者だけで音楽隊やればいいじゃん！』って思われるでしょうが、消防署長とかのエライさん達も毎日勤務者ですので、そう簡単には参りません。行事の時に、毎日勤務者が全員音楽隊で出してしまうと、他の対応が出来ないと言う事態も発生します。(今から練習してもらっても、活躍する期間短かそうだし、どうせ真夏や真冬のパレードとか耐えられないっしょ?)

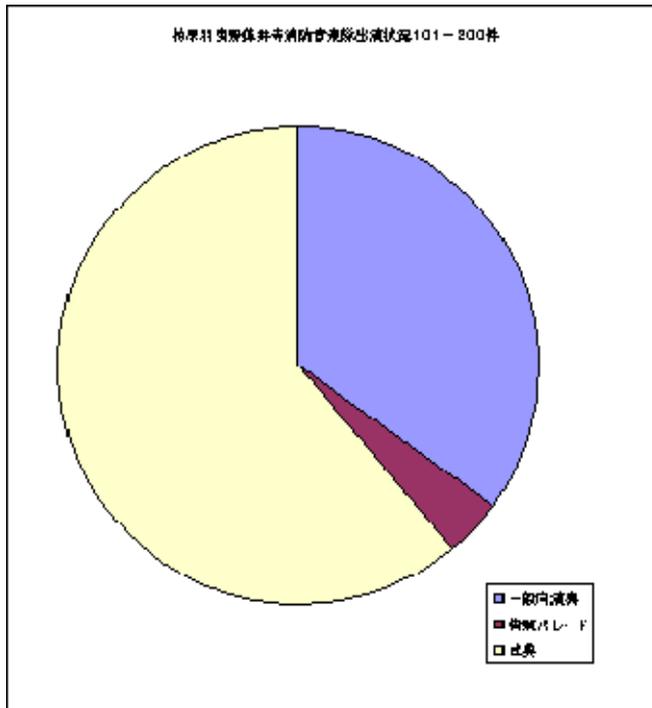
毎日勤務者だけで音楽隊が出来ればよいのですが、24時間勤務者を86%含んでいますので、全員が集まれる機会は本番当日だけです。おまけに、24時間勤務の最中に消防隊や救急隊から離脱するには、代わりに非番等の職員が勤務に就いてもらわないとどこにも行けません。(これは、音楽隊に限らず、出張、研修教育、病欠など、全て同じです。)

「もっと市のイベントに出てアピールしてたら・・・」というご意見も頂きました。正式発足昭和61年4月1日から平成17年8月7日までで丁度200回出演致しました。（何故か、たまたまですが、キリバンってやつですね！？）そうだよなぁ～と思って調べてみたら、ご覧のとおり、61%が組合構成市である、柏原市、羽曳野市、藤井寺市がそれぞれ主催する事業に出演してきました。（ありや、結構で出るんだ～って感じです。）



ちなみに、200件を前後100件で見ますと、後半からは式典への出演を減少、一般の方々に聴いて頂ける演奏機会が増えてきたところでした。特に、平成15年は藤井寺第三中学校吹奏楽部の皆さんと、平成16年は柏原中学校吹奏楽部の皆さんと合同演奏をさせて頂き、新たな展開に希望すら感じておりました。





因みに、平成16年4月1日現在、全国で消防本部は883あり、人口規模は2千人～1222万人強まであります。

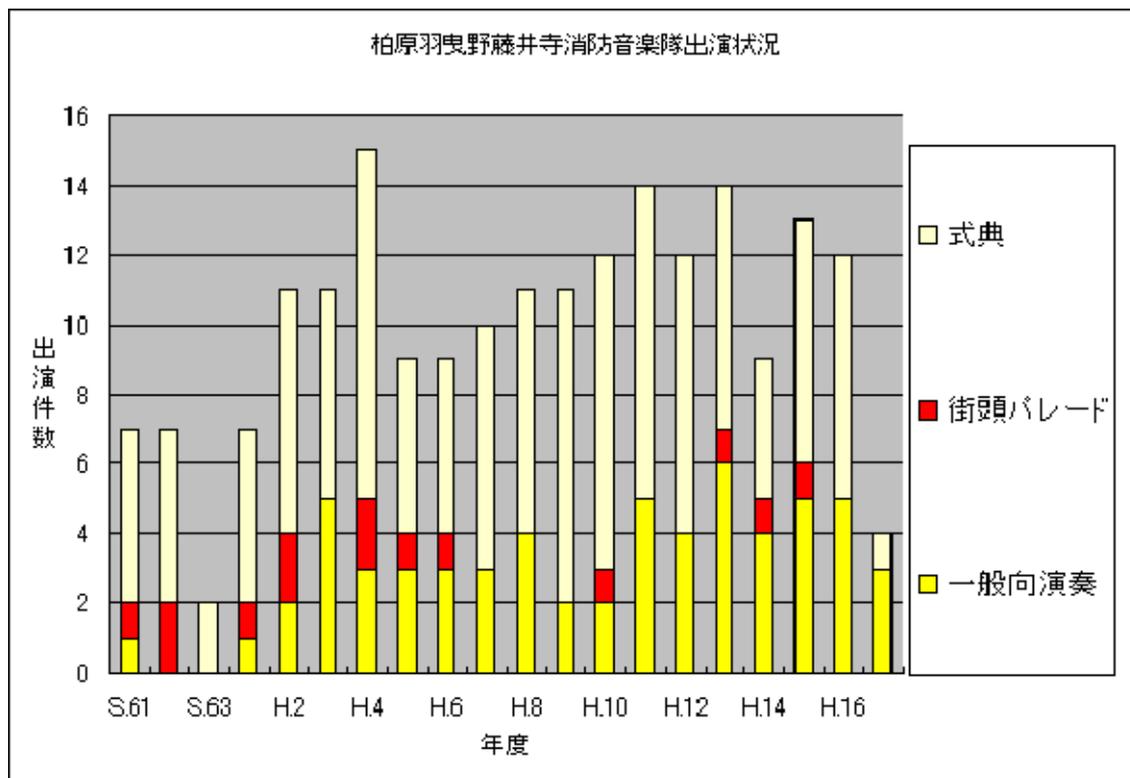
当、柏原羽曳野藤井寺消防組合は人口規模で95番目です。

消防音楽隊は、必ず設置しなければいけない業務ではなく、それぞれの消防本部に任されています。

市町村合併が続いておりますので、あまり参考にはならないかもしれませんが、記憶で恐縮ですが、5～6年前までは消防音楽隊設置の状況も国で調査され発表されておりました。

そして消防音楽隊は正確な統計が取られておりませんが、約150隊程設置されているようです。

(多分大きく間違っていないと思いますが、すみません、確かではありません。)



「ボランティアで・・・」のご提案も頂きました。

ごもっともなご意見だと思います。

しかし、ボランティアでは職務ではありませんので、前出の「代わりに非番等の職員が勤務」してもらえないのです。結局、出演が出来ません。

それと、我々は昭和60年6月の準備練習期から10年間以上、「強制ボランティア」で頑張り、やっと平成8年4月に「普通の業務」と認定されたところなので、「ボランティア」に戻り、再び自己犠牲で自分を奮い立たせ支える事は、精神的にもたないとの声が隊員に多くあります。

実際は、強制されるので、本当のボランティアではないんですよ。

(前半10年間ボランティアでしておりました時は、「なんでラッパ行きよる為に、わざわざ休みの日に出てきて補充勤務したらなあアカンネン！」とボヤキ・暴言の嵐でした。もうムチャクチャ。)

「経費的には？」、

当消防組合の平成17年度予算で、消防費のうち、約0.44%が音楽隊にかかる経費として予算計上しておりました。対前年同期GDPが俄かに微増傾向を示したとは言え、所得2極化が顕在化し、尚且つ財政状況好転の兆しを実感出来ない厳しい状況の中、緊縮財政は勿論の事です。

財政的には、これまで同様の依頼出演をこなしながら、運営費用を半額にカットし、再構築した音楽隊運営案を提出しておりますが、採用されるかどうかは未だ未定です。仮にこの案で運営された場合、平成17年度ベースで換算しますと、消防費に占める割合は約0.22%となります。演奏能力が低下する事は否めませんが、財政を考慮するのは当然の事と思っております。

「理由によってはやむを得ない」とご提案して頂いたのも、財政若しくは人員の事をご憂慮されての事と思います。

我々は、単に「音楽」を続けたいと言うのではなくって、音楽隊休止後、もし、「音楽」を続けたいのであれば、音楽隊員は各自の判断で各々が決める事と思います。勤務サイクルも違いますので隊員がバラバラになるのは仕方ない事です。

もちろん、今まで情熱を傾けて参りましたので、それが無くなるのは残念で仕方ないです。

されど、職務命令で行って参りました消防音楽隊ですので、休止命令が出れば、それに従うべきだと思います。

皆さんはどう思われますでしょうか？アンケートは、市民サービスの要素を多く含む音楽隊を今まで20年間続けて参りましたが、柏原市、羽曳野市、藤井寺市では、これを提供する業務はもう不要ですか？と言う事にも言い換えられると思います。

8月7日をもって「休止」措置が取られる事には、依然として状況に変化はございません。音楽隊の休止に関しては何の変化もなく、一旦休止すれば、自然に過去のモノとなり消滅から廃止と言う経過を辿るのではないかな～？と思っております。

今回の話を、ひと息ついて区切りにしたと感じている隊員も居る様ですので、もし、再開する事がありましても、今の消防音楽隊のメンバーが集まる事は二度とありません。8月7日の式典演奏が現メンバーでの最後となります。長年一緒にやって来た隊員達ともこれで終わりです。

今でも拙い演奏ですが、顔を上げて、胸を張って、背筋を伸ばし、一生懸命に、誇りを持って演奏したいと思っております。

「音楽隊の休止についてのアンケート」は終わりました。

皆様の当消防音楽隊への関心は、これからも続く事を願っております。

本当の意味で、ご意見・ご評価を頂くのはこれからで、それにより音楽隊の今後も最終決定されるのだと思っております。

今まで現場において、悲惨な被害者を、悲しむ家族を、立ち尽くす関係者を散々見て参りました。災害や事故で、自分の子や親を亡くし泣き叫ぶ姿、友人知人を無くし涙を堪える姿、変わり果てた、特に幼い子供達の被害者をもう見たくはありません。それでも毎日毎日悲しい事が起こり続けます。

消防音楽隊の活動は、客観的数値に効果を表せる事が出来ませんので、結局なんの役にも立っていないかも知れませんが、

「災害や事故で被害に遭われる方が少しでも減れば。被害の傷を少しでも癒せれば。」と言う思いで、決して評価してもらえない活動して参りました我々の事を、皆さんにほんの少しだけ知って頂けたら幸いです。

柏原羽曳野藤井寺消防組合

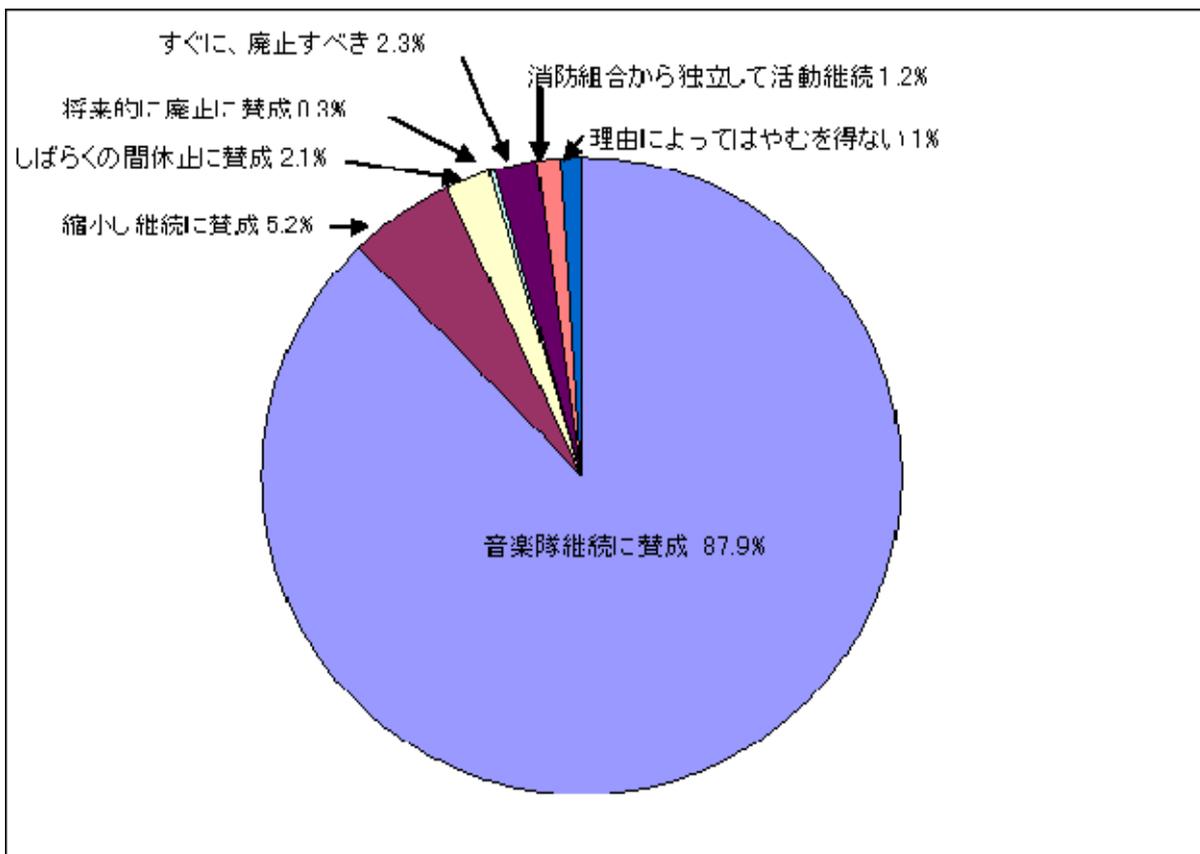
消防音楽隊

楽長 河井賀文

ガンバレ、消防音楽隊！（その73）

選択肢	コメント数	%
音楽隊継続に賛成	712	91.9
縮小し継続に賛成	21	2.7
しばらくの間休止に賛成	7	0.9
将来的に廃止に賛成	0	0.0
すぐに、廃止すべき	4	0.5
消防組合から独立して活動継続	17	2.2
理由によってはやむを得ない	14	1.8
計	775	100.0

コメント数



(コメントを頂いた方の集計)

(アンケートを頂いた全ての方の集計)

こんにちは、消防音楽隊の河井です。

先月お約束いたしました「音楽隊の休止についてのアンケート」に頂きました「コメント」をご紹介します。

皆さんの「心のこもった声」の数々。本当にありがとうございました。

私としては、頂戴いたしました全てのご意見をご紹介させて頂きたいのですが、可能な限りコメント総数の比率に則した数にて、代表的なご意見をご紹介します事を、この場をお借りしてご了承賜りますようお願い申し上げます。

[コメント集へリンクします。](#)

消防音楽隊が活動休止となって、6週間が経過しました。

消防音楽隊として頑張っていたのが、なんか、随分昔のような感覚でもあり、つい昨日のような感覚でもあり、妙な気持ちです。

隊員達はどんな感じなのか尋ねてみたいですが・・・。

見ている感じでは、音楽隊員達も普通の職員と同じ状態になり、日々の業務に紛れ、「音楽隊がない状態」に慣れてきている様です。

もっと踏み込んで言えば、「お客さんに喜んでもらえた。」「ありがとうって言ってくれた。」という演奏後感じた感動も、よい思い出としてしまい込み、「音楽隊員でないと言う事がこれほど体が楽なのか。」と言う事実を実感しているように見えます。

逆に言えば、それだけ音楽隊員に負担を強いて運営していたと言う事になると思います。

「第72話」でお話したように、「音楽隊の風化」は確実に、急速に進んでいます。

しかし、一方では「音楽隊再開」とは別に、個人練習を継続している隊員、新たな楽器に挑戦している隊員が存在します。

blast! **ドラム・ライン**、**スイング・ガールズ** などに感化された隊員。何年も前から狙っていた楽器に代わるチャンスと思っている隊員。いままでのとおりの担当楽器に打ち込む隊員などなど。(実はサクスを取り合いしています。再開したらサクスだらけになりそう(-_-))

「DIE HARD」(なかなか死なない。)ですね。

インターネット公開アンケートやメールで、本当にたくさんの激励、お叱りを頂きました。我々の思いもなかったお言葉も数多く頂戴しました。

この「ガンバレ、消防音楽隊！」も連載不要と言う意見も極一部で囁かれています。大半は「少々縮小しても音楽隊継続すべき。」と言うのが当消防職員の意味です。

「夢を信じ諦めずに頑張る。」

時勢に応じた、あるべき姿を模索しつつ、努力を続けております。

never give up !

実は、見かけによらず打たれ強いんです (^_^)

ガンバレ、消防音楽隊！（その75）

先日、大東市消防市民音楽隊発足35周年記念演奏会に行きまして。（もちろんプライベートで。）大東市の消防音楽隊は昭和42年11月に隊員8名で「ラッパ隊」として産声を上げ、44年、46年、平成9年と再編成を行いながら、消防職員だけで音楽隊を運営してきました。が、平成15年、市民に協力を呼びかけ、消防音楽隊として広報演奏活動を始められました。愛称「ウイングス」。市民の中から楽器経験者の方々が参加されているだけあって、演奏は予想したとおり、ウマイ！とても上手です。

我々のような、「楽器経験ゼロ。」（むしろ、マイナス。）、「楽譜苦手。」（むしろ、大嫌い。）の「超ド素人。」（むしろ、別の意味で超人。）から、「人前で演奏出来る。」（むしろ、強制的に聴かせてしまう別世界。）までに「育て。」（むしろ、脅迫とシゴキ。）、やっと演奏、などと言うプロセスが必要ありません。

いきなり「HGでーす、演奏OK～、フォ　　！」＼(^o^)/って感じです。

ま～、表面上では分からない問題（方向性、意識統一、各自の演奏レベルなど、とっても沢山、いろんな調整が想像されます。）がある事でしょうが、順調に活動をされているようです。

いいなあいいなあ～羨ましいなあ～(;o)（ウチなんて休止中っすよ。）

消防団員に任命して音楽隊活動に参加されているケースは見受けられますが、市民参加型で音楽隊を運営しているのは、多分、全国的にも非常に稀です。私は、今後僅かに増加する事を予想しますが、実際の活動面で、調整が大変であったり、出演途上に事故があった場合の保証制度の確立や、使用楽器の問題等、クリアしなければいけないハードルが多くあります。大東市消防市民音楽隊は見事に調和出れています。お見事！

特に、単独の市町村で運営する消防に比べ、ウチの様に複数の市町村で運営する消防組合の場合は、消防団員に任命して音楽隊活動に参加してもらおうとしても、それぞれの団員が所属する市町村の、消防団長の指揮下に置かれてしまうので、考え方や意識も理解度も処遇も調整し、統一が必要です。

消防音楽隊の演奏は、ほとんど「屋外」、それも、「砂」が舞い上がるグラウンドだったり、極寒の河川敷だったり、酷暑のアスファルト上だったり、毎回トラック搬送だし…、マイ楽器を持っている人は、絶対大切にしているはずですし、よっぽどのリッチマンかセレブでない限り、やっとの

思い出しに入れたはずですので、その楽器を持って行きたくはないシチュエーションばかり。(「シチュエーション」って打つのに2～3分悩み、最後は人に尋ねました(^-^))

おまけに、そんな過酷な状況で使用するので、「修理頻度」は自ずと上がってしまいます。

(ん～～ん、そりゃ楽器傷むわなあ～(>_<))

他の音楽隊楽長と

<「河井さんとは、まだ休止なん？」

>「はい、なかなか再開は難しい状況です。」

<「そうか～。」

>「今日こちらに参って、『市民参加型』の事も検討してみようかと…。」

<「ん～ん、でもね、いつもは人を助けてる人間が人命の尊さを演奏で訴えるのが元々の消防音楽隊の姿ではないのか？って言う拘りはあるでしょ？」

>「はい、でも、そんなこと言ってられなくなっているから。」

<「そうやなあ、なんでも削減って言う事やからなあ。」

なんて話してました。

(これからは、『東南海地震の危険性がこれだけ叫ばれていても、人員削減・予算削減で、通常の災害時にも人員不足で対応出来ない。』なんて事も起こりそうな状況です。)

こんどの休日に、大東市消防の楽長さんに、『市民参加型音楽隊』の事を教えてもらいに行ってみようと思います。

暗中模索も五里霧中(-_-;)

「セイセイセイ、フォ ！」 \ (^o^)/ (なんのこっちゃ)

ついこの間まで「暑い、暑い。」って言っていたのに、急に「さっぶ~(>_<)」って、『秋』はないの？『秋』は？

季節の変化についていけないのは、木々も同じなのでしょうが。

「紅葉」するまえに「落ち葉」になっちゃったりして。ところが「紅葉」は年々遅くなっているようです。これも『地球温暖化の影響』なのでしょうね。

そう言えば、小学校の頃、朝の校内放送ってのがあって、季節に応じた曲が何週間も毎日流れていました。今頃だったら『ちいさい秋見~つけた』って曲でしょうか。毎朝同じ曲を強制的に聞かされている状況だったので、無意識でも覚えてしまいます。今思えば『今月のヘビー・ローテーション』って事になりますね。

今はもう、こんな校内放送はないのかな？

プライベートで、先日、ある機関紙の取材をに受けました。(発行は少し先のようです。)

「録音されながら話すってどんなかな？」って思っていたんですが、意識しないように話すことが出来ました。

初インタビューもまずまずの出来だったと思います。(単なる自己満足です。全部ボツだったりして(ToT))

先方はこのHPで「音楽隊休止」の事をご存知だったようで、インタビューが終わってから、「その後、消防の音楽隊はどうなったのですか？」と尋ねられてしまいました。

「一旦でも『休止』になると、再始動はなかなか難しいですね。」と答えるのがやっとなんか言う感じでした。

音楽隊練習室に入る機会もめっきり減ってしまいました。ちょっと用事があって数日前、練習室に入りましたが、誰も居ない練習室に入った瞬間、一瞬で練習風景が映像として蘇ってきました。

ガヤガヤしながらも、楽器を構え、自分達には不可解な楽譜に取り組む隊員達が勢揃いした風景でした。その場の『音』まで鮮明に蘇ります。

考えてみれば、20年間、毎週あった練習が、ピタッとなくなった訳で、この3ヶ月間、音楽隊の活動がない日々を始めて過ごしている訳です。

目の前には、沢山の笑顔と拍手を頂き、今度はいつ音をだして曲を奏でるか分からない楽器たちが、「祭りのあと」って感じで、静物としてケースに収納され置かれているだけです。頭の中で見

えている風景と、実際に見えている風景が、シンクロしません。トランスしたようなとても不思議な感覚です。

『音』も毎回強制的に聞かされていると言えるでしょう。その「イメージ」ですり込まれてしまっているのでしょうかね。校内放送と同じかも(*_*)

『音』は蘇ってきましたが、幸いにも『曲』まで蘇るまでには至りませんでした。『曲』まで聴こえていたら、きっと頭が痛くなっていた事と思います。

いつまでもそこに吸い付けられそうな感触を振り切りながら、練習室から出ました。

消防長をはじめ「音楽隊再開」を模索しているのですが、膠着状態の打破には至っていません。(でも、そろそろ「楽器」の手入れをしたほうが良いと思うんですけど・・・(-_-;))

ガンバレ！消防音楽隊！（その77）

今回で77回目の連載になりました。

実は、書きかけて未完成のまま公開していなかった文章があります。

昨年2004年の8月に掲載予定だった「連載5周年記念特別番外編」は、消防音楽隊の存続問題と取り上げるつもりだったのですが、他への影響を考慮して、公開を断念したものです。支障のない程度の範囲だけ公開しちゃいます。

>>>>>

「がんばれ、消防音楽隊！」連載5周年記念特別番外編

こんにちは、消防音楽隊長の河井賀文です。

今年4月で柏原羽曳野藤井寺消防音楽隊は設立18年を経過しました。が、いまだに、「消防音楽隊長」って言う言葉に照れを感じてしまいます。

最近「『がんばれ、消防音楽隊！』も『消防音楽隊』からも退く時」が、いつか来るんだろうなあ～と思いつつ原稿を書き、指揮棒を振っています。

「がんばれ、消防音楽隊！」は先月分で連載満5年にもなりました。

連載が5年を経過しても、まだ思うように文章を書けません。18年間指揮をしていてもまだ音楽の事良く分かりません。(30年間ドラム叩いていても、まだ練習が必要だと思っていますし、まだまだ興味津々、飽きません。これは関係ないか(^-^))

一言で「満5年」と言っても、いろんな事がありました。この連載に関わる出来事だけでも、別の連載が書けそうです。(4年半も使っていた「顔写真」も、私も知らないうちに、いつの間にか掲載されなくなっています。)

遅くなりましたが、「**がんばれ、消防音楽隊!**」に5年間お付き合い下さり、沢山のメールも頂き、本当にありがとうございます。

5年と言う「大きな区切り」を迎えることが出来ました。多分連載10周年は無いですから、唯一の「区切り」になる事でしょう。本当に感謝しています。ここまで続けられたのも、今日までアクセス下さった皆さんのお陰と、**無謀にもここまで書き続けた私の努力の賜物です!** えっへん<(`^´)>
(これこれ、威張るじゃない!)

この先、「がんばれ、消防音楽隊!」の連載がいつまで続けられるのかは、私自身にも分かりません。本編は、昭和60年の事から書き始め、いま平成7年のことを書いています。11年間の事を書くのに5年使っちゃいました。9年分残っていますけど、これからは話のテンポが更に加速していく事と思いますので、現在に追いつくまで大して時間かからないでしょうね。

連載が今日まで続いている事自体不思議です。今すぐ終わらせてしまう事は簡単です。(いきなり「最終回」ってのも簡単に出来ちゃいますし。)でも、続ける事はとても大事だと思います。

始まりがあれば、必ず終わりが来ます。徐々に来るか、突然来るかは分かりません。でも必ず来ます。その時は、心からのお礼とお別れを、笑顔で言えるようでありたいと思っています。(連載記念特別番外編も来年あるかどうか分かりませんしね。)

でも、60回まで来たら、100回ってのも気になるですが・・・(^_-)- (100回まで来たら10年120回ってもの見えてくるけどなあ～って**結局どやねん!**

(`o` (C=(-_#))

自分だけでは決められる事じゃないので。

今年初めに、今までのプロバイダーが閉鎖されたので、メールアドレスもkasisyou@khf119-osaka.jpに変更になっています。

さてさて、いままでの掲載分は

連載1年記念特別番外編『モントルー・ジャズ・フェスティバル』全3話

連載2年記念特別番外編『消防音楽隊発足15周年記念? ALL JAPAN FIRE BAND FESTIVAL IN KOBE!』全5話

連載3年記念特別番外編『PARADE IN UNIVERSAL STUDIOS JAPAN!!』全4話

連載4年記念特別番外編『消防 Festa 2002 in はびきの』全4話

レギュラー連載60話+3話+5話+4話+4話=76話もあります。

連載開始当時は一回A4一枚程度って思っていたのですが、実際は一回3~4枚にも及んでしまいます。(ちょっと多いですかね~?(^^ゞ)

んで、今回は、原点の「お役所公式ホームページの限界に挑戦」って言うスタンスを全面に、

連載60回突破、5周年記念特別番外編

(ジャン)「音楽隊は必要か!？」

で行こうかな~って思ってんけど、ボツにされてしましそうな・・・これさえも目を見ないかも~(^^ゞ)

<中略>

大阪府下消防音楽隊の隊長、楽長、事務担当者が一堂に会する「消防音楽隊業務研究会」が平成16年度も開催されましたが、それぞれの消防音楽隊の「動揺」がヒシヒシと感じ取れました。

そんな中、この会議の席上で、富田林市消防音楽隊長が「廃止」に至った経緯説明と今までのお礼をして、「消防音楽隊22年間の幕」を閉じられました。私、個人的には、当消防音楽隊を立ち上げる時から、それ以降現在まで、深く関わりのあったウチとは4年違いの(少々頼りない)「兄貴分」の終焉を見届けた感じがしました。

自分が携わった瞬間から、そして今も、常に抱いている疑問が「音楽隊って必要なのか?」って言うことなんです。

「音楽」自体はハードの進化でCD, MD, MP3・・・メモリー&モバイルが楽になりました。個人で楽しむ音楽は(その分それなりのお金はかかりますが)再生手段環境が充実していると思います。音楽だけでなく、画像や、ゲームなど、メディアの配信方法も物体流通を介さずに出来ています。

<以下略>

>>>>>>

自分の文章なのに、言い回しがとても懐かしい感じがします。

今現在の「休止状態」を想定していた訳ではないのですが、なんとも言えない感覚で、いま読み返しています。

現在、来年度予算編成の時期で財政担当は最繁忙期です。

当消防音楽隊に関するの予算も当然審査の対象ではありますが、まだ答えが出ておりません。

一方、隊員達ですが、全く楽器に触れなくなった者も存在しますし、コツコツと練習を続けている者もおります。

「『パイレーツ・オブ・ザ・カリビアン』のパート2が出来らしいですね。あの曲を一生懸命練習していたのが、随分昔の事のようにですね。」と話す隊員も居ます。

昨年まで3年連続で開催した「消防 Festa」に「今年はどこで開催ですか？」と市民の方々から問い合わせもありましたが、もはや過去の事になっています。

8月7日を最後に休止になった事は、大きな衝撃を音楽隊員に残したまま、年が変わろうとしています。

たった4ヶ月。でも大きな「変化」が起こった4ヶ月です。市民の方々にも、消防にも、音楽隊にも、これまでの蓄積が無駄にならないようにと願うばかりです。 🍷

さてさて、年内最後（ほんとに今回最後になりそうデスが、）の掲載ですので・・・、

ジャジャン!! 年末恒例（？）この一年間の活動をサラッと振り返るコーナー

（誰も何もいわないからこのままの名前で。でも休止中なので、ちょっと虚しい(>_<)）

出演内容

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1月 6日(木) | 中和広域消防組合管内連合消防出初式 |
| 1月 9日(日) | 平成17年消防組合及び三市合同消防出初式 |
| 1月10日(月) 成人の日 | 平成17年羽曳野市成人式 |
| 5月 5日(木) 子供の日 | はびきの市民フェスティバル |
| 6月 5日(日) | 藤井寺市民フェスタ さよなら藤井寺球場 |
| 7月 9日(土) | 第20回「大阪の消防大賞」発表会 |
| 8月 7日(日) | 南河内地区支部消防総合訓練(藤井寺市) |

累計出演回数 200回

練習回数

毎週水曜日午前中 1回3時間 29回(現在休止中)

この1年間の出演で使用した曲目

パイレーツ・オブ・ザ・カリビアン / 君こそスターだ / 川の流れるように / 雷神 / 名探偵「コナン」のメイン・テーマ / 「ミッション：インポッシブル」のテーマ / 76本のトロンボーン / 錨を上げて / 慰霊の歌 / 君が代 / アフリカン・シンフォニー / 得賞歌(勇者は帰らぬ) / バック・ドラフト / スリー・ファンファーレ / 「ルパン 世」のテーマ / ラデツキー行進曲 / 吹奏楽の為の第二組曲第一楽章「マーチ」 / 風になりたい

最後の出演の時は音楽隊員で選んだ曲目を思いっきり演奏しました。

偽札、ドンキ放火、開かずの踏切、ノロウィルス、ネット心中、海賊、セントレア、ごくせん、竹島の日、パイオフ解禁、神木龍之介、キャット・ゼタ・ジョンズ、社保庁、青色発光ダイオード6億円和解、山田優、HG、愛・地球博、風太くん、第3のビール、ロボット、反日デモ、シングル・イトブーム、JR福知山線脱線事故、スキミング、CIRQUE DU SOLEIL ALEGRIA 2、サラリーマン長者、ハルウララ、BLANTON s、クールビズ、寒天、エピソード、ホットヨガ、blast! 潜水艦、ひっこせオバサン、遊具事故、NANA、ガードレール金属片、時限DVD、生保不当契約、飛行機部品脱落、軽くヤバい、想定内、ヒルズ族、MOTTAINAI、アスベスト、ホワイトバンド、方言ブーム、アキバ系、あざーず、用水路1万円札、悪質リフォーム、カラ残業、ヨネパカ、東シナ海ガス田、中国副首相ドタキャン、ロンドン同時爆破テロ、人民元切上げ、スペースシャトル再開、カトリーナ、原油高騰、**日本全国吹奏楽部の旅**、アラファト氏、知床世界遺産、生協の白石さん、アサー・ミラ、郵政解散、道路公団民営化、刺客、好況株価、6者協議、村上ファンド、BAROQUE、日本語クイズ、ドラゴン桜、官製談合、シエル・ウィー、登校中の列に車、野ブタ、小学生殺人、黒田さん、耐震偽装、Qちゃん復活、ABBA、東証システム、小学生標的、日経平均今年最大上げ、米国牛肉輸入再開、証人喚問・・・

今年も色々ありました。

「安全」って? 「信頼」って? ってこんなにも脆く崩れて行くものだと考えさせられる事ばかりです。「他人の命」って軽い存在に落ちてしまったのですね。結局、自分の事しか考えていない、保身のオンパレードです。もう「社会的責任」とかって死語ですね。いつ、自分が災いの渦中に突き落とされるか分からない「漠然とした不安」があります。ステレオタイプに白黒付けたがる風潮が強い割には、ドンヨリ灰色スッキリしない事が多い気がします。おまけに、報道で取り上げられる「日本」の扱いはイマ一つ冴えないって感じです。それに引きかえ、「世界の工場」を言われ続けてきた隣国の中国は、もはや世界経済の注目の的となり、ニュースも多くなりました。「BRIC s」の断頭目覚しいです。が、「竹島問題」「東シナ海ガス田問題」「尖閣諸島問題」「日本人拉致問題」「北方四島問題」などなど。「戦後60年間のツケ」が「経済」を背景に噴出しているようにも思えます。でもなんととも釈然としません。そんな感じはナイですか?

「大雪」の被害があちこちで起きています。

思えば1年前、「スマトラ島沖地震」がありました。被災地の復興はどうなっているのでしょうか。

『そして今年もまた、とても沢山の幼い子供の命が奪われてしまいました。

今の日本は「平和」です。でもその「平和」は、歪み、朽ち落ちそうな、「病んだ平和」のように感じて仕方ないです』これは昨年も一昨年も書いたことですが、ますます重症になっています。

音楽隊を「陰」となってバックアップしてくれている大勢の皆さん、ありがとうございます。

残念ですが「活動休止」になってしまいました。本当に申し訳ありません。

このHP、楽長のコーナー「ガンバレ、消防音楽隊！」に、特に「公開アンケートに」たくさんの応援を頂きました。ありがとうございました。皆さんの励ましの「お話」や「メール」とても喜んでおります。

出来れば、「消防音楽隊」を忘れないで欲しいです。

去年、「微妙な流れ」と書いておりました。この連載はなんとか今回まで続けられましたが、今や、音楽隊は休止し、再開の目処はたっていません。

この「ガンバレ、消防音楽隊！」も、いつどうなることか予想がつきません。

私個人的には、悩み多い一年でした。

年末のご挨拶もこれで最後かもしれませんね。

それでは皆さん、

MERRY X'MAS & HAPPY NEW YEAR !

KASHIWARA HABIKINO FUJIIDERA FIRE PROTECTION DISTRICT (FIRE MANS BAND Conductor & Drum Major)

Wishing you the best

BATTALION CHIEF YOSHIFUMI KAWAI

ご意見、ご感想は、kasisyo@khf119-osaka.jpまでメール下さいますようよろしくお願い致します。
m (_) m

ガンバレ！消防音楽隊！（その78）

ガンバレ、消防音楽隊！（その78）

あけましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました

本年もどうぞ「ガンバレ、消防音楽隊！」に

ご支援ご高配、応援をお願い申し上げます

雪の被害が深刻です

被害に遭われた方にお見舞いを申し上げます

消防出初式が、今年も、1月8日に柏原市役所前大和川河川敷公園にて行われました。

1月5日が仕事始めだったので、5日、6日と通常業務があり、7日の休みを挟んで、8日出初式でした。

6日の夜、帰りのロッカー室で、

「出初式の服装ってなに？」

「靴下の色は？」

などと慌てて確認しているのは、音楽隊員ばかり。

音楽隊ではない立場で、出初式に出るのが初めての音楽隊員も多いのです。

音楽隊発足以前から在職する音楽隊員も、一般職員として出初式に出るのは20年振りです(・_・)

出初式では、一般の職員が白手袋着用していますので、音楽隊もいつも白手袋を着用しておりました。

でも、ご存知の方も多いと思いますが、手袋をしたまま演奏出来ない楽器も多いのです。指で楽器の穴を塞いで音を変える楽器は、手袋していると空気が漏れてしまいます。

かといって、音楽隊だけが手袋していないと見た目もヘンな感じです。

そこで、手袋の指の部分を第一関節あたりでカットして着用します。

なんだか勿体ないような気もしますが、仕方ありません。

(以前、「演奏しにくかったら、手袋なしにしてみようか？」

と尋ねたところ、

「寒さ対策に、手袋は絶対必要です！」と猛反撃を浴びせられた事があります。)

ですが、今年は音楽隊としてではなく、一般職員として参加するとなると、カットしていない手袋が必要なのですが、

「指の切ってない手袋がない(>_<)」なんて言い出す者も。

まー、20年もやってきた音楽隊ですので、急に切り替えろと言われても、なかなか無理です。

自分も

「えっと楽器は・・・。今年は考えなくていいだった(-.-)」

って感じでちょっとヘンです。

(司会やマリー・フラワーズとの打合せもないし。)

出初式の当日は受付関係を担当しておりましたが、なんせ初めて。

どことなく所在ない感じ。

来賓の方々から、

「今年から、音楽隊ないんやなあ。寂しいこっちゃんの〜。」

「いつもと着てる服が違うなー。」

と声を掛けて頂きました。

音楽隊員も一般職員に混じり、入場行進したり、車両の運転をしたり、あちこちに顔を見付けます。いつも先頭を演奏しながら歩いてたんだけどね〜。

入場行進のBGMはCDです。行進するには少しテンポが速いですけど。(販売物の曲は、同じ曲目でも、演奏や用途によって、テンポが違う場合が少なくありません。自分はしないので聴く機会がありませんが、パチンコ屋さんでかかっている「軍艦マーチ」は、テンポを上げて軽快に聴こえるようにしてあるそうです。)

毎年、消防殉職者への黙禱を行っていますが、そのBGMが長いので音楽隊ではいつも半分にカットして演奏していました。が、今年は、他の消防音楽隊の演奏を生録音したカセットテープ。しかも、フルコーラス。長いよー(>_<) (目を閉じているので余計長く感じます。)

音楽隊でなく一般の職員としての出初式はとても気が楽で、音楽隊で演奏している時って、結構神経を使っていた事に初めて気付きました。音楽隊って、演奏するだけが役目ではなく、イベントや式典の進行にも深く関係している事を再認識した次第です。

出初式が終わって音楽隊員に尋ねても

「今年は楽でした〜。」って感想です。

毎年、出初式の翌日は成人式での演奏があり、二日連続の出演をしていましたが、それも今年はありません。(だから体も楽です。)

隊員達も、「音楽隊の仕事」をしないと、これだけ楽なのかと実感しちゃっているようです。

自分には、早期再開を目指す一年の始まりですが、何事も一旦立ち止まると次の一步がとても重くなってしまうのが、大変気がかりです。

ご意見、ご感想は、kasisyo@khf119-osaka.jpまでメール下さいますようお願い致します。m(_)_m

ガンバレ！消防音楽隊！（その79）

平成18年2月3日（金）、多くの消防音楽隊関係者に**激震**が走りました。

『大阪市消防音楽隊廃止へ』の活字が、産経新聞に大きく掲載されました。

記事は、危機的な財政状況に陥っている大阪市が、35年以上の伝統を誇り、今も年間200回ペースで演奏している消防音楽隊であるが、専従音楽隊である上に、大阪市は完全な外部委託で、年間1億8000万円の経費が重荷とされ、東京都や全国の政令指定都市で始めて廃止となり、音楽隊まで「リストラ」を余儀なくされる大阪市の窮状が浮かび上がったとしている。

『できるなら続けたかったが、危機的財政状況にある中で苦渋の決断。』、『予防効果は絶対にあるが『演奏により火災がどれだけ減ったのか』と問われるとつらい。』と同市消防局のコメントを掲載している。(産経新聞朝刊、2006年2月3日より要約)

特に大阪府下の消防音楽隊には、オモイッキリ逆風の事態が勃発した事になります。

「では、ウチの市ではどうなんだ!？」などと言う議論が噴出するキッカケになります。記事と同様に、「演奏によって火災がどれだけ減ったか？」と数値測定不可能な意地悪な質問も投げかけられます。

この時期、各自治体は、議会開催を目前にしており、3月の議会は、新年度予算を審議する場でもあります。

音楽隊を有する消防本部は、議会での質問に備え、説明資料の作成に追われているようで、休止中の当消防音楽隊にも、他の消防音楽隊から、実態に関する問い合わせの電話が数件入って来ました。

「ウチは休止中なんですけど(^◇^)」

「参考までに、一応、聞かせてもらえますか？」

「いいんですけど、参考にもならないんじゃないですか？」

なんて、変な会話になっちゃいます。

大阪市消防音楽隊には、隊長にも、隊員の皆さんにもとてもお世話になり、特別、想いも強いです。もちろん、大阪府内にある他の消防音楽隊にも、そしてお付き合いのある全国各地の消防音楽隊にも。

そんな中、2月12日(日)、豊中市、吹田市、茨木市、高槻市の4つの消防音楽隊合同演奏会が行われ、呼ばれもしないのにノコノコ行って参りました。

梅田で乗り換え、阪急曽根駅で下車。数年前に豊中市消防音楽隊の演奏を聞きに来たのを、駅を出てから思い出しました。

「そっか、そっか、知ってる所やん。」

なんて思いながら、テクテク。

入り口の立て看板に、「音楽隊関係者はロビーを横切り・・・」と楽屋への案内も書かれていたので、そのまま豊中市立アクア文化ホールの方へ。

開演時間5分前に到着。受付には女性が一人。

プログラムを受け取りホールへは入ろうとすると、

「開演は2時半ですので、皆さん、しばらくロビーでお待ちください。」

???

開演2時が、リハーサルが押して、変更になったのかな?とロビーで待っている皆さんを見渡すと、10人程。独特のルックスがある消防関係者は皆無。

あれっ?と、さっきもらったプログラムを見ると、

『早春によせて～三つの女性ハーモニー～』って(*_*)

(ピンク色のプログラムってのも、その時気づきました。)

以前来た時は、このアクア文化ホールでの演奏会したが、よく考えると、今日は隣の豊中市民会館大ホールでした。

(余計な事まで思い出して失敗しちゃいました。)ひょえ～、即移動。汗々(^; ;

大ホールは、本当に大きな舞台に、1580席、車いす4席と言う立派なホールです。

お客さんも結構入っています。

東大阪市の元楽長と現地で落ち合う約束をしておりましてので、

「えっと、どこかな・・・?」

泉佐野市消防音楽隊の楽長さんとばったり。

更に、神戸市消防音楽隊の楽長さんがこちらに手を振ってくれたのと、開演ブザーが同時だったので、そのまま神戸市の楽長さんの隣に。

消防音楽隊お決まりの「ハロー・ファイヤーマン」で始まりです。

1曲目が終わり。司会者から、

「・・・、財政状況悪化に伴い、各地で消防音楽隊が休止や廃止に追い込まれております。」

アチャ、いきなり本題です(>_<)

でも、新聞報道の直後ですので、避けて通れない話題ですし、直球勝負って感じでとても良いと思いました。

「・・・そんな中、4つの消防音楽隊の有志による演奏会を本日、開催出来る運びとなりました。」

演奏会は2部形式で、1部は4つの市の消防音楽隊の指揮者が交代してそれぞれ1曲ずつ演奏した後、防火・防災・救急についてのお話を織り交ぜておのおのご挨拶。

2部はスクリーン・ミュージックやディズニーもののメドレーやラテン曲で少し和んだ演奏でした。

豊中市の楽長さんは、とっても仲良くしていただいているドラム奏者で、自分とは違い、非常に几帳面で丁寧な演奏をされます。リズムも、テクニックも、ハッキリ・シッカリ・クッキリ・パッチリされています。ご立派の一言!(お見事～～。)

ラテン曲の演奏中、会場の通路を練り歩く「会場ご乱入リズム隊」が、丁度、我々の座っている横を通過中に、神戸市の楽長さんから、

「豊中市の楽長さんって、どの方ですか？」って尋ねられました。

「いま、カウベル叩きながら、ノリノリで通った人です。」

「あっ、あ~~~~、あの方ですか。(^^)」

「はい、ちょっとステップはギコチナイですけど、シッカリしてて、とってもいい人です。」

「あ、はいはい。」

神戸市の楽長さん、なぜかちょっと痛い表情されていました。

(ちょっと褒め過ぎたかな。目前で繰り広げられているガニ股ステップとのギャップが・・・(-_-;))

最後に豊中市の楽長さんが、演奏会の代表としてご挨拶。

内に秘めた、とても強い意志が伺える立派なご挨拶でした。(パチパチパチー。ヒューヒュー?)

なかなか調整がつかず、出演者全員が揃ったのは、本番当日だけだったようですが、大変上手な演奏でした。

終演後、ホールの出口で、見送る音楽隊員に、

「ありがとう。ありがとう。」と声をかけるお客さん達の姿が印象的でした。

とても、羨ましいかったです。 🍷

ご意見、ご感想は、kasisyo@khf119-osaka.jpまでメール下さいますようよろしくお願い致します。
m(_)_m